

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	地理	単位数	3	年次／コース	中学1年生/特進
使用教科書	帝国書院『社会科 中学生の地理』、帝国書院『中学校社会科地図』						
副教材など	教育開発出版『新中学問題集 地理Ⅰ』、『新中学問題集 地理Ⅱ』						

1. 学習の到達目標

●科目について 地理分野においては、世界や日本の様々な地域について学習していきます。単なる知識の習得にとどまらず、授業のワークや資料の読み取りを通じて、「地理的な見方・考え方」を身につけていきましょう。また、現代社会とのリンクを考え、身近な地理についても学び、個々人の知的好奇心の涵養にもつなげていきます。 ●コンピテンシーについて 社会科を通して、「主体的に学ぶ姿勢」を獲得してほしいと考えています。本校の学校コンピテンシー「For me」における学びに向かう力を養い、自分で走り出せる（自走できる）ことを大きな目標として展開していきます。

2. 学習方法について

●授業中において 教科書とプリントを中心に授業を行います。説明の時間はしっかりと話を聞き、プリントの穴埋めに加えて積極的にメモをとりながら授業を受けることを期待します。また、授業では個人、ペア、グループのワークを取り入れます。主体的なワークへの参加が深い学びにつながります。授業の終わりにはリフレクションを行います。何を新しく学んだか、授業を通じてどんなことを学んだのかを振り返り、学びを自己調整する力を身につけていきましょう。 ●家庭学習において 授業で行った範囲については教科書やプリントを見返すなど、復習を中心に進めてください。また副教材の問題集も計画的に進めるようにしましょう。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：知識・技能	B：思考・判断・表現	C：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	日本の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。
評 価 方 法	①試験における知識を問う問題 ②「探究型」学習による成果物 ③パフォーマンス課題 上記3点のいずれかにおいて判断する。	①試験における説明を求める記述問題 ②「探究型」学習における発言や成果物 ③パフォーマンス課題 上記3点のいずれかにおいて判断する。	①試験における課題解決を問う記述問題 ②「探究型」学習における発言や成果物 ③パフォーマンス課題 上記3点のいずれかにおいて判断する。

4. 学習の活動

学	単元名	学習内容	主な評価の	単元（題材）の評価規準	評価方法
---	-----	------	-------	-------------	------

期			観点				
			A	B	C		
1	第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 中間考査 21 時間 第2部 世界の様々な地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域	○大陸と海洋 ○国の名称と位置 ○緯度・経度 ○地球儀と地図 ○日本の位置と範囲 ○世界と日本の時差 ○都道府県の位置 ○世界の気候と生活 ○世界の衣食住 ○世界の宗教 ○アジア州 ○ヨーロッパ州	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	<第1部第1章～第2章> ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置などをもとに世界の地域構成を理解する。(知識・技能) ・日本における都道府県名と位置に加え都道府県庁所在地名を習得する。(知識・技能) ・日本の海洋国家としての特色と竹島や尖閣諸島、北方領土をめぐる領土問題について多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現)(学習に取り組む態度) <第2部第1章> ・世界の気候と関連させながら世界各地の生活の特色把握し、衣食住の観点から各地の生活を理解する。また、その際に、世界の宗教の分布を理解する。(知識・技能) ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由をその生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) <第2部第2章> ・世界の各州に暮らす人々の生活をもとに、隔週の地域的特色を大観し理解する。(知識・技能) ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。(知識・技能) ・世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現)	「3. 学習評価」における評価方法に基づいて評価を行っていく。
2	期末考査 18 時間 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査	○調査テーマと調査方法 ○野外調査等	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<第3部第1章> ・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。(知識・技能) ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。(知識・技能) ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多	

3	第2章 日本の地域的特色	○日本の地形 ○日本の気候 ○日本のさまざまな自然災害 ○日本の人口 ○資源や産業の特色 ○日本の農業・林業・漁業・工業・商業・サービス業 ○交通・通信網	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現) ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。(学習に取り組む態度)	
	中間考査 20 時間				<第3部第2章> ・日本の地形や気候の特色を世界の地形や気候と比較しながら、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。(知識・技能) ・日本における地域的特色の理解と関連付けて、日本が抱えている人口や交通・通信などの課題を多面的・多角的に考察し、課題の解決方法を提案する。(思考・判断・表現)(学習に取り組む態度)	
	第3章 日本の諸地域	○九州地方 ○中国・四国地方 ○近畿地方 ○中部地方 ○関東地方 ○東北地方 ○北海道地方	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<第3部第3章> ・第1章～第2章で学習した内容をもとにそれぞれの地域的特色と課題を理解する。(知識・技能) ・日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現すること(思考・判断・表現) ・地域の考察に当たっては、そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた視点に留意する。(学習に取り組む態度)	
	第4部 地域の在り方 第1章 地域のあり方	○地域の課題を考えよう ○地域の課題の解決の方法を考えよう	○ ○	○ ○	<第4部第1章> ・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。(知識・技能) ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解させる。(知識・技能) ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。(思考・判断・表現) ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。(学習に取り組む態度)	
	学年末考査 25 時間					